

地鎮祭

6月18日 大安

・・・地元のみなさんとともに



6月18日吉日、来春開設予定の「介護老人保健施設 春風(仮称)」の地鎮祭が、歴史ある長岡天満宮の中小路宮司様により厳粛かつ滞りなく執り行われました事をここに報告申し上げます。

これより、皆様の期待と信頼にお応えできる機能を備えた施設の建設に向け、「ヴォーリズ設計事務所」の設計者、法人スタッフと共に検討を重ねた設計図面をもとに、「清水建設株式会社」による建設工事を、本格的に進めさせていただきます。また、工事にあたりましては、万全の配慮にて、安全に施工して参ります。



工事関係者と共に安全を祈願する当法人役員

春の訪れと共にオープンする「春風」は、乙訓地域では最大規模の全室個室を有する『老健』となります。

ご自宅と病院の中間的位置付けであるこの施設は、地域の方々がいつまでも安心して在宅で暮らしていただくための一助になるものと考えております。

皆様にとりまして、ご利用し易く、かつ有意義な施設となるよう、誠心誠意、取り組んで参りたいと存じます。



菊地理事長 挨拶

京都市立神川中学校 職場体験 チャレンジ神川!

6月7日(月)～6月11日(金)

「がんばったね! 5日間の病院体験」
「放射線科」、「看護部」、「リハビリテーション科」

毎年、受け入れている中学生の職場体験。今年は病院の3部署で受け入れました。陸上部で野球もするという元気な形岡くんが体験。以前に腰とヒジを痛めた時、リハビリで回復した経験からリハビリに興味があるそうです。



看護部体験



放射線科体験

放射線科では、CT撮影やレントゲン撮影などを見学。看護部では、患者さんの注入食準備や食事介助、シーツ替えなども体験しました。リハビリでは車イスを押ししたり、入院患者さんを部屋に送迎したりしました。

感想 放射線科では、知らなかったレントゲン撮影などが見学で良くわかった。看護師さんは忙しかったけど、シーツ替えなども楽しかった。看護師もやってみたく少し思いました。リハビリは、手の動かない人を動かしたりするのがすごい。設備も整っていて驚いた。自分もやってみたかったです。スタッフの方はみんな、やさしく丁寧に分かりやすく、患者さんにも優しくされていてすごいいいと思いました。



形岡くん(左)と桑原 作業療法士

編集後記

きらめく太陽と水しぶき。西山公園ジャブジャブ池は、長岡京に住まう方々の「夏、憩いの場」です。家族に見守られ、はしゃぐ子供たちの歓声。そんな明るい笑顔がいつまでも続く事を願い、千春会は地域の方々の健康をしっかりと守ってまいります。夏の光よりキラキラと...スタッフの「熱い想い」が千春会の「輝き」です。(弘)

患者さまの権利と義務

- 当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。
- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
 - 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
 - 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
 - 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
 - 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
 - 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

- また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。
- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
 - 2 十分理解できるまで質問いただき、納得した上で治療をお受けください。
 - 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないよう協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院
千春会病院
〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615

せんしゅん

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会 検索



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価 (Ver.5) 認定病院

発行責任者: 菊地 孝三



長岡京市 西山公園 ジャブジャブ池

理念 (3つの使命)

- 1 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
- 2 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
- 3 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

医療法人社団 千春会

第45回 京都病院学会

6月13日(日)

千春会「13演題」を発表



気合いあふれる発表前の演者達

今年も京都府医師会館にて「京都病院学会」が開催されました。千春会は13人の演者が的確に要旨を述べ、実に堂々とした発表となりました。

発表の焦点がはっきりしている事もあってか、質疑応答では、千春会に質問が多数寄せられるなど、さらに充実した内容となりました。

当日まで、データ整理や分析、スライド作成と何度も検討がなされ、直前の予演会では、理事長・院長はじめ、医師、コメディカル、事務担当者によって、発表内容はもとより一言一句まで厳しい精査が行われるなど、入念な準備がなされました。

大会場では、「脳卒中の地域連携部門」の発表とともにコメント・討論が行われ、要望演題のリハビリ科佐藤作業療法士、地域連携室岩永相談員が発表の後に急性期病院のドクターと並んでコメンテーターとして登壇。脳卒中の地域連携についてコメントしました。会場からの意見交換では当法人の地域連携に対し「在宅復帰が困難と思われたケースに対し、地域連携が力を注ぎ、病診連携



シンポジストとして参加するリハビリ科 佐藤氏と地域連携 岩永氏

が機能することで在宅復帰が可能となったことに非常に感銘を受けました。」とお褒めの言葉まで頂戴しました。



発表中のデイケア 山本 作業療法士

また、いずれの部門でも、藤原院長、筒井先生から鋭い質問が投げられ、学会を盛り上げることとなりました。糸井副院長の「千春会におけるがん温熱療法(ハイパーサーミア)」の発表では、副院長自らも「プレゼンテーションで言いたい事が伝わった」との感で、会場での注目度も高く、質疑応答では、数名の医師から質問があり、発表終了後も会場では、近藤元治院長(ハイパーサーミアクリニック ハイパーサーミアについて講演する糸井 副院長ク院長)に個別に質問される先生もおられました。



ハイパーサーミアについて講演する糸井 副院長

医師・看護・放射線・リハビリ・栄養管理など13部門での発表は、今年も充実した内容となりました。学会終了でホッとしたのも束の間、心新たに千春会の全職員による「良質な医療・看護・介護」を目指しての地道な取り組みが始まります。



座長を務めた山内 看護部長を囲んでの演者、後方に医師団



藤原 院長 コメント

事前の準備を万全にしており、どの演題も発表自体は全く心配はありませんでした。その後の質疑応答にも集中できて大変良かったと思います。



糸井 副院長 コメント

全演目が、予演会で十分精査されていたため、非常に洗練された素晴らしい発表ができていました。

和束町 と 社会福祉法人 和楽会

特別インタビュー

特徴のある美しい茶畑で有名な京都府和束町。千春会の関連法人が運営する「特別養護老人ホーム わらく(社会福祉法人和楽会)」がここにあり。今回は、活き活きとした笑顔の堀 忠雄 町長に和束町の魅力を力強く語っていただきました。

プロフィール
昭和20年6月29日生まれ
昭和43年3月 立命館大学法学部卒業
平成13年4月 和束町長 初当選
平成22年現在 3期目



和束町 堀 忠雄 町長

●最近、和束町へのツアーや、お茶カフェが人気と伺いましたが、堀町長 リーガロイヤルホテルとのコラボ企画で、和束のお茶を使った料理やホテルから和束町へ向かう宿泊プランなどが大変好評です。お茶カフェは、観光客と町の人が楽しく語りながらお茶をいただく、交流の場です。お茶以外に絵や雑貨なども販売しており、農家の人が自信を持って作ったものが、目の前で販売される喜びを感じることが出来ます。



取り組みを力強く語る 堀 町長

●町長は「茶源郷」や「健康になる観光」を提唱されていますが、堀町長 「和束の茶畑」は、京都府景観資産登録第一号です。山なりを活かし、緑に囲まれた茶畑は「茶源郷」ともいふべき先相から伝わった和束独特の風景です。緑の茶畑は「目から見る健康。和束の散策は「身体を動かす健康。お茶をいただくのは「口から入る健康。それらが融合した体感型の「健康観光」をめざしています。「温泉」があるのなら「緑泉(りよくせん)」があってもいいんじゃないですか(笑)。何度行っても元気になるという繰り返

●緑で元気になる「緑泉」は素敵ですね。町長の活力は、この効用ですか、堀町長 前向きに取り組むと免疫力がアップすると言います(笑)。苦労はありますが、活き活きと夢を持って仕事に取り組んでいます。教育提携も同志社女子大学など数校と行っており、社会教育講座授業の一環で、和束町を訪れてもらうなど、女性の意見や感性を大切にしています。京都モデルフォレスト事業(森林整備事業などの企業参画)など、緑でつながる「ふれあい」の機会を大事にしています。



特別養護老人ホーム「わらく」

●千春会の関連法人である「社会福祉法人和楽会」はいかがですか、堀町長 和束町も高齢化に伴って、家族だけで、自宅だけで、お年寄りをみていくことが出来ない場合もあります。「施設建設を」と考えたとき「元気な人との触れ合いスペース」「お茶をたててもらえるような場所」

堀町長 和束町長は、良い事も悪い事も直接住民の意見が聞けます。郷土を愛する心を大切に、年をとった「緑豊かな和束に住もう」と言ってもらえるような、高齢者の町づくりも重要であり、「和束の緑泉」で癒される、新しい体感的な観光も実現したい。五感で感じる地域「茶源郷」で心と体の健康を得ていただきたいと願います(笑)。

●田舎の良さを活かしながら、和束独自のスタイルを創っておられるようですが、堀町長 和束町長は、良い事も悪い事も直接住民の意見が聞けます。郷土を愛する心を大切に、年をとった「緑豊かな和束に住もう」と言ってもらえるような、高齢者の町づくりも重要であり、「和束の緑泉」で癒される、新しい体感的な観光も実現したい。

旅行のように楽しめる



自宅のようにくつろげる



今回は
ショートステイの一日を紹介します。

介護部 取材



ショートステイの一日

朝 ミーティングでは、看護師交えて夜勤者から日勤者へ申し送りを行います。利用者さんは朝食後、歌を歌ったり、オセロや塗り絵などを楽しめます。部屋でTVを見る方やロビーで一緒に見る方、利用者さん同志で楽しく会話されることも。その頃スタッフは、入所される方を10時から11時にお迎えします。



朝のミーティング

午後 順番に入浴し、歌やゲームで楽しめます。昼食は皆で頂き、スタッフと一緒に施設内を散歩したり、ひげ剃りなどで身支度。14時の体操が終わればおやつです。その後は、スタッフと屋上で散歩する方、デッキで日光浴される方、基本的には思い思いの時間を過ごされますが、イベントなども季節ごとに企画して、楽しんでいただけるよう工夫しています。スタッフは、周囲に気配りしながら、14時から16時頃、療養手帳などの記録を済ませ、17時過ぎには日勤者と夜勤者が入れ替わります。



食事

夕方 退所にあたり、お預かりした荷物に間違いがないよう、リストに照らし合わせ、確認しての退所準備もスタッフの仕事です。荷物を車に積み、用意ができれば送迎車でお見送りです。

夕食の準備後に退所者の居室を清掃します。



退所準備

就寝 利用者さんは、ゆったりとした時間の中で過ごされ、夕食後は服薬やトイレ誘導などにも気配りします。

食事後すぐ就寝の方には、お部屋での歯磨きや着替えなどを手伝います。定期的に2時間毎に巡回し、必要に応じ部屋に伺います。利用者さんの安否確認、おむつ交換、排泄介助など早出スタッフが来る7時30分まで行います。夜勤専従スタッフが帰る際に、申し送りと日勤者へ引き継ぎがなされ、ショートステイでの一日が終了します。

デイサービスと違い、ショートステイは、宿泊での気遣いを必要とします。ご自宅と違う環境でも、ゆったりと安全に過ごしていただき、少しでも楽しんでいただきたいと願って、スタッフは日夜努力しています。



楽しい会話



移動介助



申し送り



おやつ



夕食準備



就寝準備

日本でただ一人！ 選ばれた橘くん！

— 世界で16名だけ選出 —

おめでとう！ 橘 勇佑さん

(DS友岡勤務)



FIFA ワールドカップ
エキシビジョン・マッチ 参戦 (南アフリカ)

史上初！スペシャルオリンピックス・ユニティカップ 開催

世界中から選ばれた16名 (FIFA ワールドカップ 出場国 32カ国より) で構成されたチームが、7月3日ワールドカップ準々決勝の2時間前 (日本時間夜9時) に、同じスタジアム (グリーンポイントスタジアム) で試合を行ないます。

スペシャルオリンピックス(so)とは
知的障害のあるアスリートに
スポーツ活動の機会を提供し、
社会参加を応援する国際的なスポーツ組織。



ワールドカップ開催に合わせてスペシャルオリンピックス(so)が開催するエキシビジョンマッチがスペシャルオリンピックス・ユニティカップです

日本でただ一人の選手として、当法人のデイサービス友岡に勤務する橘 勇佑さんが選出され、日本代表として南アフリカに向います。そして、全世界310万人のスペシャルオリンピックスのアスリートを代表し、日本人としてただ一人この試合に参加します。



TBSの取材を受ける勤務中の橘さん(DS友岡) ↑

5月20日の記者会見を皮切りに、NHK・TBSなどのTV取材、FM845生出演、京都新聞掲載など、多くのマスメディアで取り上げられ、知的障害を持ちながら仕事やスポーツに懸命に取り組む橘さんに多くの方々から応援をいただきました。

当法人理事長からは、職員からの応援メッセージがぎっしり書かれた色紙が手渡され、利用者さん



とともに「ガンバレ橘君！」と盛大にエールが送られました。

いつもは、デイサービス友岡で、利用者さんのお世話をしている橘さん。利用者さんと会話するのが楽しいとのこと。「取材は緊張する?」「もう慣れました(笑)」と、かわいらしい笑顔が輝く18歳の若きアスリートです。

菊地理事長から色紙を受け取る橘さん



利用者さん、スタッフ全員から「頑張って!」のエール

FM845番組「わかばん neo」放送より
番組ブログで公開中

「意気込みは?」

「応援してくれる皆さん、本当にありがとうございます。向こうでワンゴール、雰囲気を味わって楽しんで日本に戻ってきます。」

「将来の夢は?」

「仕事では介護士の資格を取って頑張りたい。サッカーは近畿・西日本・全国・世界へと勝ちあがって行きたい。」



FM845出演中・MC 葛山知佳子さんと